

■自主防災組織支援補助金

【消防費】160万円
（企画総務部 総務課）

災害時に、自分たちの地域を自分たちで守る要となる自主防災組織の活動支援を目的として、防災資機材等の購入に対して補助金を交付します。
補助率：1/2
補助上限額：8万円/1団体



ヘルメット・メガホンなどの防災資機材

7 地域情報化の推進

■ブロードバンドネットワークの運営

【総務費】2億5,965万円
（企画総務部 情報政策課）

光インターネットとケーブルテレビの両サービスが加入者の方々に安定してご利用いただけるよう、市内全域に架設している光ファイバ網やケーブルテレビの放送施設といった情報通信設備を維持管理するものです。故障が起きた場合には迅速に復旧するとともに、電柱の移設に伴う光ケーブルの架け替えなどを行います。
また、新たに申し込みがあったお宅へは、光ケーブルの引込工事やケーブルテレビ機器の取付工事を実施します。



光ファイバケーブルの保守作業

ケーブルテレビを活用し地域の情報を発信

■ケーブルテレビでの市政番組放送

【総務費】2,381万円
（企画総務部 情報政策課）

ケーブルテレビの自主放送チャンネルでは、地域に密着した話題や市からのお知らせを映像と文字で放送しています。市では、ケーブルテレビ会社に番組制作を委託し、週替りのニュース番組、地域で活躍する団体や人々にスポットをあてた紹介番組、成人式や市総合体育大会などの特別番組のほか、議会中継を放送しています。気象警報やイベント告知では、字幕放送によってタイムリーな情報提供も行っています。

また、今年度は、週末に開催されたスポーツ大会やイベントの様をいち早くお届けする新番組や丹後建国1300年関連番組を制作するなど、ご家庭でさまざまな地域の情報を見ただけのように番組を拡充していきます。



自主放送番組撮影の様子

VII 6つの基本方針のたしかな推進
計画推進のために

効率的な行財政運営の推進

■会議録検索システムの導入

【議会費】（新規）930万円
（議会事務局 議会総務課）

本会議、委員会などの会議録を議会ホームページで検索し、ご覧いただくためのシステムを導入します。このシステムによりさまざまな検索方法が可能となり、利用しやすく、見やすい会議録を提供します。



使いやすくなる会議録検索システム

職員の育成を進めます

■職員政策力養成学校の開設

【総務費】50万円
（企画総務部 人事課）

主に市役所の若手職員を対象に、市内外の各分野の現状・課題等について幅広い見識を身につけることで業務遂行能力の向上を図ることを目的に、年間を通じた研修を行います。



幅広い分野の研修を予定しています

市税や料金が納付しやすくなります

■市税等のコンビニ収納

【総務費】（新規）2万円
（財務部 管財・収納課）

昼間、市役所や銀行等へ行けない方など、納税者等の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアを利用した税・料金（一部の料金を除きます）の納付を、平成25年10月から実施する予定としています。

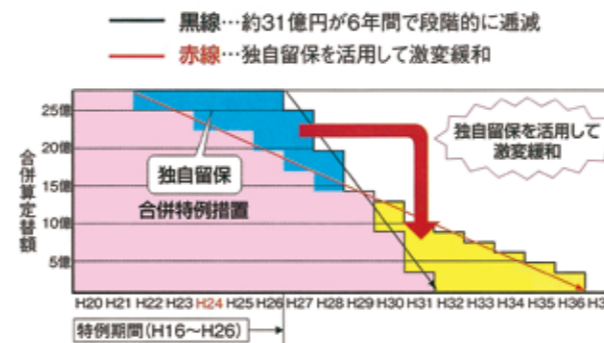


将来を見据えた持続可能な財政運営

■合併特例措置通減対策準備基金積立金

【総務費】5億円
（財務部 財政課）

平成27年度以降の普通交付税の通減及び合併特例事業債の適用廃止に伴う急激な減収による市民サービスの低下を抑制するため、平成22年度に創設した合併特例措置通減対策準備基金に5億円を積み立てます。合併特例期間中に合併特例措置通減対策準備基金を積み立て、後年度にその基金を活用することで、予算規模縮小の激変緩和と削減期間の実質的な延長を目指します。



■公有財産の売却等

【総務費】533万円
（財務部 管財・収納課）

市が保有する土地や建物について、将来的に利用計画のないものを積極的に貸付・売却し、財源を確保することによって、市民サービスの向上を図ることにしています。
また、物品についてもインターネットオークションを利用した売却を行い、新たな財源確保に努めます。



市民の皆さんの意見を行革に反映します

■市民満足度の調査

【総務費】（新規）30万円
（財務部 行財政改革推進課）

市の行政サービスの向上や行財政改革の取り組みについて、市民視点からの進捗状況を把握するために、市民満足度調査アンケートを実施します。調査は、無作為抽出による高校生以上の市民3,200人を対象に7月頃に実施します。調査結果は、市のホームページなどで公開するとともに、第3次行財政改革大綱策定のための貴重な資料として活用します。

前回調査で寄せられたアンケートの回答



■第2次京丹後市総合計画の策定

【総務費】（新規）411万円
（企画総務部 企画政策課）

総合計画は、まちづくりの将来像を掲げ、それを目指すための各種施策を表した、まちづくりの基礎を担う大切な計画です。

京丹後市は、平成17年度に第1次京丹後市総合計画を策定し、その計画期間は平成26年度をもって終了します。このため、新たに京丹後市のまちづくりの基本となる第2次京丹後市総合計画を平成26年度までの2か年で策定します。



第1次京丹後市総合計画冊子

市民総幸福のまちづくりを目指して

■幸福度指標等の研究

【総務費】236万円
（企画総務部 企画政策課）

「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、市民の幸福と幸福のまちづくりに関する事項等の調査、研究を実施します。

25年度は市民を対象とした幸福に関するアンケートを実施し、幸福のまちづくり研究会において、その傾向を研究していくこととしています。



幸福のまちづくり研究会の様子

幸福のまちづくり研究会

学識経験者、各種団体、行政で構成し、幸福度指標や市民の幸福と幸福のまちづくりに関することなど、について、調査、研究などを行っています。

■市役所庁舎の耐震診断

【企画総務費】（新規）120万円
（企画総務部 企画政策課）

「京丹後市建築物耐震改修促進計画」（平成19年度策定）に基づき、多数の市民が利用する庁舎のうち、建築後の経過年数が長い網野庁舎及び弥栄庁舎の耐震診断調査を実施します。



網野庁舎